

3. 履修コース説明・卒業要件・開講科目一覧表

〈2018年度入学生〉

履修コース説明

スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科（S118生）

スポーツ教育コース

我が国では少子高齢化と児童生徒の運動不足が懸念されています。中学校や高等学校の保健体育の教師になるためには、陸上、球技、水泳、器械運動、武道、野外スポーツ、ダンスなど教育の現場で扱われる幅広い運動種目を教えられる実技指導能力を身につけなければなりません。それと同時に、運動の理論や保健の知識、さらには応急処置、栄養学、医学などさまざまな知識を養い、生徒が安全に且つ楽しく運動ができる力を身につける必要があります。このコースでは、保健体育の授業に対応できる実技指導力と専門的な知識を兼ね備えた保健体育教諭を育成します。

スポーツコーチコース

本コースでは、対象者の年齢・体力・技術に合わせて練習プログラムを作成、指導のできる実践的な知識とスキルを基礎から応用まで幅広く学修し、競技スポーツにおけるトップアスリートのコーチから、地域スポーツや生涯スポーツの指導者まで、幅広い領域で活躍できるスポーツ指導者の育成を目指します。従来の精神主義・根性主義のコーチングではなく、最新のスポーツ科学の知見に基づき、科学的なデータに基づいたコーチングのできる指導者を養成します。

健康トレーナーコース

交通機関や電子機器の進化によって、私たちの日常生活は非常に便利になりました。しかし同時に、自分自身の手足を使わずに済むようになったため、人間の身体に本来は備わっているはずの機能を弱めていたり、さらには健康そのものを失う状況が生まれています。運動不足による子どもの体力低下や中高齢者の生活習慣病、介護の増加は、世界一の少子高齢社会である日本ではとても深刻な問題です。そしてこの社会問題は、国民一人ひとりが意図的に身体活動を行うことで解決が可能であり、健康づくりには食生活・栄養とともに、運動・スポーツがとても重要な役割を果たします。本コースでは、運動・スポーツと健康に関する専門的な知識と技能を習得し、対象者の年齢、性別、健康、体力レベルに合わせた適切な運動プログラム作成と指導ができる健康づくり指導者を養成します。

卒業要件

東海学園大学スポーツ健康科学部を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に示す所定の単位数以上を修得しなければなりません。

▼スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科（S118生）

科目群	授業科目区分	①各科目区分において卒業に必要な修得単位数	②各群において卒業に必要な修得単位数	③卒業に必要な修得単位数
全学共通科目群	共 生	必修4単位	} 25単位以上	} 合計で108単位以上
	健康・スポーツ			
	キャリア	必修4単位		
	外国語	必修6単位		
	日本語			
	人文			
	社会			
	自然			
	日本文化			
	情報			
専門科目群	海外研修			
	導入科目	必修4単位	} 58単位以上	
	基礎科目	必修4単位を含め6単位以上		
	基幹科目	必修4単位を含め8単位以上		
展開科目	40単位以上			
演習科目群		必修16単位		

- ① スポーツ健康科学部の教育課程は、全学共通科目群、専門科目群および演習科目群によって構成されています。各科目群の中にはそれぞれ授業科目区分があり、さらにその区分の中に各科目が配置されています。
- ② 卒業するためには、上記の表の①②③すべての単位数条件を満たす必要があります。
- ③ 1年間で履修登録できる単位数の上限は49単位です。

修得単位数の目安

各学年終了時までには修得することが望ましい単位数の目標は以下の通りです。

以下のものはあくまで目安ですから、この単位数に満たなくても次の学年に進むことはできます。ただし、第4学年終了時までには124単位以上が必要です。無理なく卒業できるように、各学年終了時にこの程度の単位数は修得するようにしてください。

第1学年終了時：35～40単位程度

第2学年終了時（2年間の合計）：70～80単位以上

第3学年終了時（3年間の合計）：100～120単位以上

第4学年終了時（4年間の合計）：最低124単位以上

*上記の単位数は最低数の目安です。この数値以上の単位修得をめざしてください。

*卒業には、合計の単位数だけではなく、必修科目が修得されていること、各科目区分ごとに決められた単位数が満たされていることが条件になります。

(注) 就職活動等で必要な卒業見込証明書は、3学年終了時に90単位以上修得している学生に限り発行されます。